



CNニュースレター

～がん化学療法看護認定看護師 編～



2020年6月発行

Vol. 4

《がん化学療法看護認定看護師の紹介》

みなさま、はじめまして😊。がん治療の【がん薬物療法】を専門とする分野の認定看護師です。がん化学療法看護認定看護師の役割は、①安全・安楽・確実に患者さんの治療の継続を支えること、②治療方法の選択や治療場所のご相談、③がん薬物治療で起こる【からだ・ところ・生活】の変化や副作用を最小限にとどめ、【その方らしく生活していけること】【自分らしく生活していく】ために一緒に最良の方法を考え、お手伝いしていくこと、QOL（生活の質）を維持して治療が継続できるように支援していくことが主な支援内容です。また【治療のやめどき・・】についても共に悩み相談していくことを役割としております😊。困った時も困っていない時も、治療や家や仕事・趣味などの生活について一緒にお話しをしませんか？外来2Fの化学療法室にありますので、内服抗がん薬服用や入院中の患者さま、ご家族さま、患者さまにとって大切な方も是非お立ち寄りください。

がん化学療法看護認定看護師



定免 亨(じょうめん こう)
化学療法室専従

認定看護師

(CN: certified Nurse)とは

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められたものを言います。

【認定看護師の3つの役割】

- ◆指導: 看護実践を通して看護職に対し指導を行う。
- ◆相談: 看護職等に対しコンサルテーションを行う。
- ◆実践: 個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する。

今回のニュースレターは『がん治療』についてです。がんの【三大治療】をご存知でしょうか？ がんを切り取る「手術」、がんに放射線をあてる「放射線療法」、抗がん薬などの薬を用いる「薬物療法」があります。からだに本来備わっている免疫のはたらきを利用する免疫療法は、第四の治療法とされています。また、がんの治療には局所療法と全身療法があります。局所療法には、手術と放射線療法が当てはまり、がんの場所が特定でき、そのがん細胞を取り除いたりする治療法です。一方、全身療法には薬物療法と免疫療法が当てはまり、主にがんが最初に発見された場所とは異なる遠くの臓器や組織に転移した際などに行う治療法です。複数の治療法を組み合わせた治療のことを【集学的治療】と言います。



監修: 慶應義塾大学 医学部 先端医学研究所 所長 細胞情報研究部門 河上 裕 先生より引用

当院は、【がん診療連携協力病院 (胃・大腸)】であり、この【集学的治療】を行うことができる施設です。また、がん薬物治療を専門とする【腫瘍内科医】が月1回 (毎月第3土曜日)、予約制で外来診察を行っておりますのでご利用ください。次回は『免疫療法』についてお伝えします

～認定看護師会からのおしらせ～

★ニュースレターは、年6回の発行を予定しています。認定看護師の活動を紹介していきます。

➤ 千葉徳洲会病院では5分野の認定看護師が活動しています。

(感染管理・皮膚排泄ケア・緩和ケア
がん化学療法看護・認知症看護)

➤ 千葉徳洲会病院での医療講演も
随時行っています。

院外での研修会や勉強会に出向くことも可能です。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ窓口: 友の会まで